

2020年10月1日
住友電装株式会社

住友電装グループ全従業員の行動原則となる「SWS WAY」を改定

～住友ハーネス事業の行動原則を15年ぶりに改定～

住友電装株式会社（本社：三重県四日市市、社長：川井 文義、以下 当社）は、当社グループ全従業員の行動原則である「SWS WAY（住友電装 WAY）」を、企業を取り巻く環境の変化に合わせ、この度15年ぶりに改定しました。

新しい「SWS WAY」は、これまでの「SWS WAY」で掲げていた30項目を「プロフェッショナル」、「チームワーク」、「チャレンジ」の3つの項目に集約し、当社グループの約23万人全従業員が覚えやすくシンプルにしたものです。この3つの大項目はプロフェッショナルである従業員一人ひとりが、チーム一丸となり、誠実かつ実直に挑戦し続けてきた当社の誇るべき企業文化であり、当社グループの強みそのものでもあります。

世界中の人々がより豊かに、快適になるよう、また、お客様から信頼され続ける企業、「世界中の自動車会社にとって、なくてはならない存在」であり続けるために、全従業員が新たな「SWS WAY」を十分に理解・共感し、日々の業務で実践できるように全社的取り組みを推進してまいります。

1. 背景について

住友電装は、1917年に創業し、電線事業で培った技術を根幹に、ワイヤーハーネスのリーディングカンパニーへと成長してきました。このような当社の100年以上の長い歴史の中で、脈々と継承されてきた「仕事への取り組み姿勢や考え方」を全従業員の行動の原理原則として2005年に制定されたのが「SWS WAY」（Sumitomo **W**iring **S**ystems **W**AY、住友電装 WAY）です。

しかしながら、企業を取り巻く環境は急速なスピードで変化し続けています。このような不可実な時代を迎えている中、当社グループのつなげる技術の存在価値が問われようとしています。この危機を、当社グループの総合力をグローバルに活かした新たなチャレンジで、どのような時代の変化にも対応できるよう、15年ぶりに「SWS WAY」を改定することとしました。

2. 改定した「SWS WAY」の内容

今回改定した「SWS WAY」は、「プロフェッショナル」、「チームワーク」、「チャレンジ」この3つの大項目から構成され、各項目にさらに3つのキーワードが定められています。それぞれが表すものは以下のとおりです。

SWS WAY

SWS WAYは住友ハーネス事業の行動原則です



当社グループは、約 23 万人のグループ全従業員が新たな「SWS WAY」の実践を通して、今後も、安全・快適・環境をキーワードに、次世代のモビリティ社会へ貢献していき、そして持続可能な社会の実現をめざしてまいります。

以 上

■住友電装について■

住友電装は1917年に創業し、クルマの中のさまざまな機器をつなぎ、電力や信号をすみずみまで伝える「ワイヤーハーネス」を製造する世界トップクラスの企業です。時代のニーズを先取りする研究開発をベースに、カーメーカーをはじめとするお客様の期待に応えて、自動車用ワイヤーハーネスのほか、エレクトロニクス製品、ハイブリッド車・電気自動車用製品などの幅広い製品群を展開しています。これまでに培ってきた「つなげる、つながる」技術を活かして、もっと安全に、もっと便利に、もっと環境にやさしい次世代のモビリティ社会に貢献していきます。